



あびら地域公共交通便り

第 2 号

～安平町地域公共交通網形成計画の策定作業を行っています～

【編集・発行】安平町企画財政課企画グループ



はじめに

安平町では 住民の方々にとってよりよい公共交通となるよう、地域公共交通網形成計画の策定に取り組んでいます。計画策定に向け、地域住民の公共交通に対するニーズを詳しく知るために、『**地域別の意見交換会**』及び『**病院や食料品店におけるアンケート調査**』を実施しました。

地域別の意見交換会を実施しました

実施概要

目的

地域住民の皆さまの公共交通の利用状況や地域公共交通の現状について知ってもらう機会の提供、公共交通における課題や解決方策を検討するための情報収集を目的として意見交換会を実施しました。

参加者

■ 地域住民：老人クラブにおける地域公共交通に興味・関心のある高齢者

	早来かしわ会	安平柏寿会	遠浅朋友会	追分地区 5 団体
実施日	11/16 (水) 13:00～	11/16 (水) 9:30～	11/29 (火) 13:00～	11/29 (火) 10:00～
開催場所	町民センター	安平公民館	遠浅コミュニティセンター	ぬくもりセンター
参加者数	10 名	11 名	8 名	16 名



意見交換結果の概要

「デマンドバスの存在は助かっている」などという声があるなか、まだまだデマンドバスをはじめとする公共交通のことが知られていない状況や運行時刻や方法等に課題があることを把握することができました。

デマンドバス について

- ・ ちょうど良い時間の運行が無く、運行間隔が空きすぎている。
- ・ 停留所から距離のある食料品店に停留所を置いて欲しい。
- ・ 病院に通うために土曜日に運行して欲しい。
- ・ 病院の帰りの時間が定まらないので事前予約しにくい。
- ・ 千歳や苫小牧への JR や路線バスに乗り継げるよう接続させて欲しい。

せいこドームバスと 路線バスについて

- ・ 安平循環線の運行時刻は行動に合わない。せいこドームバスは運行時刻も便数も適度でよい。
- ・ せいこドームバスはプール専用で無料だが、色々な場所で乗降できるなら有料でも乗りたい。
- ・ バス停で長めに待てる場所がないので確保する必要がある。

JR について

- ・ 苫小牧や千歳への移動には JR は欠かせない。
- ・ 自分たちが免許返納する頃には JR がなくなりそうで心配。
- ・ 町内移動でも JR を使うことがある。無くなると不便。
- ・ 追分経由で JR に乗って千歳に向かうことは考えたことがなかった。（駅までの接続が悪いことも要因）

その他

- ・ 行きはデマンドバス、帰りは路線バスというように組み合わせて使っている。多少不便でも考えながら利用すべき。
- ・ 自分で時刻表を作ると行動を予定しやすい。

『病院や食料品店におけるアンケート調査』の実施

実施概要

地域別の意見交換会と同じ目的で、町内の病院や食料品店等にいらっしゃった大人の方々に普段の移動実態や公共交通の利用状況、課題についてお伺いしました。

アンケート調査結果の概要

1) 公共交通の利用の頻度と利便性

① 利用頻度

「全く使わない」と「月に数回」で9割を占め、利用頻度が低い

② 利用目的

公共交通の利用目的は約7割が町外（千歳・苫小牧）への通院・買い物などの広域移動

③ 使わない理由

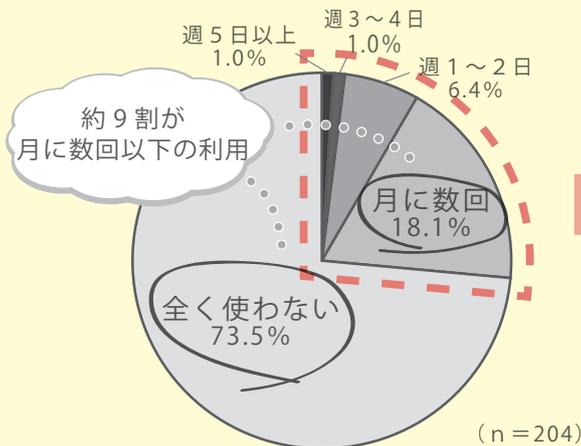
「自家用車があるから」「利用方法がわからない」など

④ 利用しづらい理由

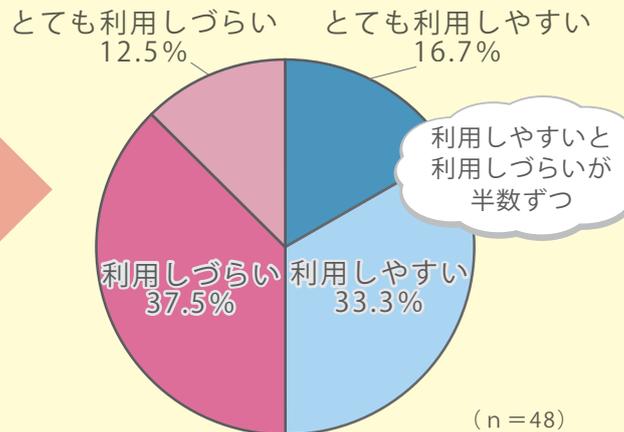
「本数が少ない」「バス停が遠い」「時間が合わない」など

対象施設	実施日	サンプル数
追分	ショッピングセンターなかもり	11/28 (月) 42名
	追分菊池病院	11/30 (水) 28名
	ぬくもりセンター (足腰しゃんしゃん教室)	11/18 (金) 25名
安平	安平郵便局	11/25 (金) 16名
早来	渡邊医院	11/22 (火) 31名
	フーズショップきしだ	11/22 (火) 31名
	せいこドーム (足腰しゃんしゃん教室)	11/18 (金) 25名
遠浅	遠浅郵便局	12/1 (木) 15名
合計		213名

公共交通の利用頻度



公共交通の利用しやすさ



2) 自由意見 ～以下のような意見もありました～

- デマンドバスの利用方法がわからない。
- 公共交通の使い方をもっとわかりやすく説明して欲しい。
- 高齢者が見やすい情報提供をして欲しい。
- 買物や通院に合わせた公共交通を運行して欲しい。
- 病院から帰る時間が分からないのでデマンドバスの予約が難しい。循環バスがあると使いやすい。

